

【教員氏名】

モグベル ザファル
研究室:聖アンデレ館 10階 1010号室
メールアドレス:moghbel@andrew.ac.jp

【授業形態】

講義

【講義・演習概要】

この授業の主なテーマは国際貿易、国際金融、外国為替市場に係る諸制度です。世界経済でいま何が起きているのか。また、経済の現状を見つめるとき、世界の国々とその国民は何に期待を掛け、何を脅威と受け止めているのか。「世界経済事情Ⅱ」では、このような視点に立って「世界経済入門」の講義を行い、これらの分野に関連するトピックスを取り上げて分かりやすく説明します。できるだけタイムリーな、そして受講生が関心を持てるようなトピックスを選ぶことを目指します。なお、トピックスの内容や順序は、世界情勢の展開により変わることがあります。

【学習目標】

世界経済の仕組みと今日的トピックスについて分かりやすく解説することがこの講義の趣旨です。受講生が新聞の国際経済記事を興味をもって読み、自分なりの理解と意見を持てるようになればこの講義の目的は果たされたと考えます。

【講義計画】

第1回:戦後世界経済のルールとその起源:「近隣窮乏政策」の負の遺産とその封じ込め

第2回:GATT/WTO体制と国際貿易

第3回:GATT/WTO体制の3大原則

第4回:自由貿易に向けて:数量規制・関税・非関税障壁の軽減

第5回:GATT/WTO体制におけるさまざまな例外措置:

特恵関税と地域統合を中心に

第6回:多角的貿易交渉の過去と現在

第7回:日本のFTA戦略:TPP交渉と加盟をめぐる

第8回:東アジア地域統合と日本の対応

第9回:IMFの組織と仕組み

第10回:金融危機とIMFのコンディショナリティー

第11回:外国為替事情の仕組み

第12回:変動相場制のもとで日本円が歩んできた道・前半

第13回:変動相場制のもとで日本円が歩んできた道・後半

第14回:経済グローバル化の光と影

第15回:経済グローバル化と日本の対応

【成績評価の方法】

試験評価:90% レポート:0% 出席:10%

出席点は、授業中に行う数回の小テストの結果による

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

テキストの代わりに、資料をほとんど毎回配布するので、配布資料の責任ある管理を期待する。

【準備学習の指示(事前学習 30 時間、事後学習 30 時間)】

1. 経済学の基礎を復習しておくこと。
2. 配布資料を正しく管理し、その内容について予習・復習を行うこと。
3. 新聞の、国際経済関連の記事を継続的に読み、世界経済の現状をできるだけリアルタイムで追うこと。

【その他備考(担当教員用)】**【備考(管理者用)】**

(旧:世界経済事情)02~10 生読替